

◆ 主催する側として気を付けたいこと

○ 楽しい雰囲気づくり

- * チームワーク良く
 - ・嫌なことを喜んでする
 - ・共に汗を流す(苦勞)
 - ・意志統一
 - ・相手の立場の尊重
 - ・たまには飲み会
 - ・疲れたら休もう(関係者がダウンしたら元も子もない)

同じ目標に向かって共に歩む仲間づくり

- * 責任と権利を与える(責任の所在をはっきりさせる)
 - ・主催者スタッフが自分の役割をしっかりとこなす
 - ・イベントスタッフは企画段階から参画してもらわないと実のあるものにならない
 - ・顔が見える=責任

責任をもって取り組める体制づくり

- * 会議をする
 - ・スケジュールや段取りをきちんととる
 - ・行政は前もっての準備が下手
 - ・報道相がなっていない(市⇄地域)
 - ・予算の使い方がわからない
 - ・役割をはっきりさせる
 - 協力してほしい内容を丁寧に教えてほしい
 - シンプルに考えて行動する
 - ・各地区のまちづくり協議会などの方が集まり意見交換をする

意志疎通を図るための場づくり

- * イベント内容の充実(新たな事業への取り組み)
 - ・地区ごとの特色を生かし、決まりきったイベントにしない
 - ・その地区ならではの企画を立案してはどうか
 - ・今までの考えにとらわれない
 - 型にはまって新たな考えを出しにくい(時代の流れを知らえる)

自由な意見を言い合える公平な場づくり

- * 目標を明確にする
 - ・何がテーマかわからない
 - ・活動の目的を明確にする
 - まちづくり予算が行政から来るが貯金できない(もっと大がかりなイベントをしたい)

目標の明確化(求めるものは何か)

- 資金とハード
- ・お金のことよりも知恵を出せと言われた。
 - ・事業費を捻出する場合、費用対効果を検証することが必要
 - ・地域ごとにグラウンドや体育館が十分整備されていない
 - ・会場貸出し(安価、無償)
 - ・交通(バス)、駐車場の無償(安価)提供
 - ・予算が豊かならイベントも豊かになり人も集まりやすくなる

発想をすぐに形に出来る環境づくり

- * 反省会をして次に生かすことが大事
 - ・良いと思うまちづくりを真似する
 - ・反省会は一般参加者も入れると多様な意見が聞ける
 - ・アンケートを実施し、どのような内容のイベントを企画してほしいのか調べてはどうか
 - ・アンケートを実施し、集計した結果を公表するなど何をやったのか成果を残すべき
 - ・新たに利益を生み出せないか合わせて考えたい
 - ・成果は求めるが義務でない

改善を進めていく場づくり

リピーターが付いた。
おいしいと言ってもらえた。
年寄りに楽しさを伝えたい。
子どもたちが喜んだ
生産者が喜んだ
たくさん売れた

再発見するための反省会。やりがいの発見もある。

事業活動の最終的な成果は、人材の成長や後継者の養成である。
参加してみて、こんな素晴らしいものがあるとは思わなかった
勉強になった。
ものに対する思いが伝わった
実施した事業の報告をきちんと行う(HP, 広報誌)

○ PR方法

- * 情報提供の共有
 - ・関係者しか知らない
 - 情報が不足している(情報を得やすくするには?)
 - 広報紙、HPの作成
 - PR方法(新聞、市報、TV)
 - PRを市報に頼りすぎ
 - イベントのPRを普通にしていても集客できない
 - PRにマスコミを利用
 - 情報の発信地がない
 - 継続的なPRが必要
 - イベント掲示板をつくる

PRとは、情報共有の手段。みんながわかればPRはいらない。

定期的なイベントにすることでより広まる
市民を広く対象とするイベントは、根気強く続けていけば定着する

◆ 協力する側として思うこと

○ 協力者(ボランティアなど)について

- * 地区の行事はいつも同じ人が多い
- * 人手不足
 - ・ 組合、商工会に加盟していなくてもOK!
 - ・ 地元の人 は 消極的
 - ・ 参加は無料であること
 - ・ 参加すると何か得するイベント

参加しやすい仕組みづくり(参加しようと思わせる工夫)

* 後継者がいない(伝統は伝えていくもの)

- ・ 時間をかけてある分野で抜きん出た人を育成する
- ・ 取組が人材育成につながるものであることをする
- ・ 同じ地区でもイベントごとに企画運営を別な人がする
- ・ 若手の取り込み
 - ・ イベントはいろいろな方を巻き込む(小、中、高校生など)
 - ・ 地域の世代を超えて参加
- ・ ネットワーク(人材育成、人材発掘)
 - ・ 行政は区長以外に声をかけられないか
 - ・ 多くの団体とのネットワークがない。共有化されていない。
 - ・ 頑張っている人はいるのにスポットが当たらない
 - ・ やればできる人がたくさんいる
 - ・ 行政マンを利用しろ
 - ・ NPOが育つまちになったらいい
 - ・ 各種団体へ呼びかけを行った

ネットワークこそ人材発掘の早道

* 達成感や参加して得るもの

- ・ 1人では何もできない。たくさんの方の協力があった。
 - ・ いかにも多くの人に参加してもらうかよりも、いかに同士を増やすかがイベント成長のポイント
 - ・ イベントの準備が平日で協力しにくい
 - ・ 意見を聞き取り入れる
 - ・ たくさんの業者の協力
 - ・ 隣組の活用
 - ・ 声掛けをして信頼できる関係づくりをする
 - ・ 苦しい事ではなく、楽しいことと思わせる

達成感が苦しさを楽しさに変える